

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社ストライダーズ

上場取引所 東

 コード番号 9816 URL <http://www.striders.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 良一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 兼 CFO (氏名) 前田 嘉也 TEL 03-5777-1891

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,897	59.0	△34	—	13	—	72	—
25年3月期第3四半期	1,193	56.7	△130	—	△97	—	△104	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 33百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △75百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	0.89	0.88
25年3月期第3四半期	△1.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	2,112	1,085	50.2	12.70		
25年3月期	1,992	988	48.1	11.93		

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,061百万円 25年3月期 958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,570	52.1	10	—	53	—	100	—	1.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	83,555,896 株	25年3月期	80,330,896 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	25,298 株	25年3月期	25,198 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	81,009,505 株	25年3月期3Q	74,306,104 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策、金融政策等を背景に円安や株価上昇が進み、個人消費も回復に向かうなど徐々に景気回復に向けた兆しが見られるようになりました。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、それぞれの事業において新規顧客獲得に向けた営業努力を重ねる一方で、人件費・外注費の削減等のコストダウンにも努めてまいりました。また、M&Aによる新たな収益源の開拓につきましても継続的に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,897百万円（前年同四半期比59.0%増）、営業損失34百万円（前年同四半期は営業損失130百万円）、経常利益13百万円（前年同四半期は経常損失97百万円）、四半期純利益72百万円（前年同四半期は四半期純損失104百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① I T 関連事業

I T 関連事業につきましては、Webマーケティング事業の中古車情報検索・車買取一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」は、主要キーワードによる検索順位の低迷が続き、売上が減少しております。また、モバイルリンク株式会社が行っている車載端末システムの受託開発は、契約およびシステムの導入が期末に集中する傾向が強くなり、新規顧客獲得に向けた営業活動に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のI T 関連事業の売上高は130百万円（前年同四半期比34.1%減）、営業損失は21百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）となりました。

② 不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、新設住宅着工件数（貸家）は引続き増加傾向にあり、マーケットは回復基調にあります。このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、ワンルームやコンパクトタイプの物件管理に特化し、マーケット環境及び物件の特性を的確に捉えた営業活動を積極的に展開し、入居率向上や、賃料水準の維持を図ってまいりました。新規のサブリース契約が順調に増加しており、売上の増加に寄与しております。なお、都内2カ所不動産仲介を行っていた店舗を8月末に事業譲渡いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は1,076百万円（前年同四半期比28.9%増）、営業利益は39百万円（前年同四半期は営業損失18百万円）となりました。

③ 食品関連事業

食品関連事業につきましては、中華麺等の製造販売を行っている有限会社増田製麺は、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンの製麺を主力とし、従来からの品質の維持に加え、業務の効率化やコスト削減等に努めてまいりました。また、新規の取引先も徐々に増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は165百万円（前年同四半期比45.2%増）、営業利益は22百万円（前年同四半期比178.2%増）となりました。

④ ホテル関連事業

ホテル関連事業につきましては、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテルを運営しており、景気回復に伴う日本人海外旅行客数の増加、台湾を中心とした訪日外国人旅行客数の増加等により、宿泊者数は増加し、平均稼働率も高水準を保っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間のホテル関連事業の売上高は519百万円、営業利益29百万円となりました。ホテル関連事業の前年同四半期比については、前第4四半期より開始した事業のため記載しておりません。

⑤ その他の事業

その他の事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において企業再生再編事業を行っており、資金調達等のコンサルティング業務に取り組んでまいりました。また、グローバル芸術家有限責任事業組合において現代美術家の絵画作品等に投資を行っておりますが、国内外の投資家に対する売却活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は4百万円（前年同四半期比90.5%減）、営業利益は1百万円（前年同四半期比37.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ555百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が573百万円増加したことによるものであります。固定資産は801百万円となり、前連結会計年度末に比べ435百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が418百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は488百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に未払金が54百万円減少したことによるものであります。固定負債は538百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,027百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,085百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金64百万円の増加、四半期純利益72百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は50.2%（前連結会計年度末は48.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測につきましては、平成25年5月14日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予測に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	562,123	1,136,092
売掛金(純額)	110,263	89,448
有価証券	—	12,340
たな卸資産	21,499	26,402
その他	61,989	47,297
流動資産合計	755,875	1,311,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	358,318	338,825
その他(純額)	131,902	136,386
有形固定資産合計	490,220	475,212
無形固定資産		
のれん	238,714	240,365
その他	10,896	7,693
無形固定資産合計	249,610	248,059
投資その他の資産		
投資有価証券	426,866	33,572
関係会社株式	9,523	—
その他	60,197	44,281
投資その他の資産合計	496,586	77,853
固定資産合計	1,236,418	801,125
資産合計	1,992,293	2,112,705
負債の部		
流動負債		
買掛金	85,991	54,501
短期借入金	50,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	38,083	45,295
未払金	115,212	60,785
未払法人税等	8,835	6,298
賞与引当金	12,825	5,642
預り金	86,518	89,488
その他	114,711	166,367
流動負債合計	512,178	488,379
固定負債		
長期借入金	258,416	322,654
退職給付引当金	5,606	6,082
長期預り敷金保証金	205,549	208,856
繰延税金負債	22,209	1,259
固定負債合計	491,782	538,853
負債合計	1,003,960	1,027,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,371,406	1,403,421
資本剰余金	57,000	89,015
利益剰余金	△502,879	△430,521
自己株式	△2,952	△2,958
株主資本合計	922,574	1,058,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,052	2,054
その他の包括利益累計額合計	36,052	2,054
新株予約権	690	409
少数株主持分	29,015	24,051
純資産合計	988,333	1,085,472
負債純資産合計	1,992,293	2,112,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,193,260	1,897,374
売上原価	880,857	1,096,399
売上総利益	312,402	800,974
販売費及び一般管理費	442,615	835,459
営業損失(△)	△130,213	△34,484
営業外収益		
受取利息	422	89
受取配当金	25,115	49,049
受取手数料	3,539	2,636
為替差益	2,332	—
貸倒引当金戻入額	304	163
その他	4,515	8,802
営業外収益合計	36,230	60,741
営業外費用		
支払利息	888	7,412
有価証券評価損	—	1,207
新株発行費	—	2,625
その他	2,725	1,928
営業外費用合計	3,614	13,173
経常利益又は経常損失(△)	△97,597	13,084
特別利益		
為替差益	—	66,087
その他	—	446
特別利益合計	—	66,534
特別損失		
固定資産除却損	1,449	—
事業譲渡損	—	4,151
特別損失合計	1,449	4,151
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△99,046	75,466
法人税、住民税及び事業税	3,071	8,073
法人税等合計	3,071	8,073
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△102,118	67,393
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,115	△4,964
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△104,233	72,357

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△102,118	67,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,279	△33,997
その他の包括利益合計	26,279	△33,997
四半期包括利益	△75,838	33,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△77,953	38,360
少数株主に係る四半期包括利益	2,115	△4,964

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ32,015千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,403,421千円、資本剰余金が89,015千円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T 関連 事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	その他の 事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	198,685	835,306	114,237	45,029	1,193,260	—	1,193,260
計	198,685	835,306	114,237	45,029	1,193,260	—	1,193,260
セグメント利益 又は損失(△)	△14,566	△18,248	7,938	2,359	△22,516	△107,696	△130,213

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△107,696千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T 関連 事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業	その他の 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	130,852	1,076,814	165,763	519,685	4,257	1,897,374	—	1,897,374
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	152	—	—	152	△152	—
計	130,852	1,076,814	165,915	519,685	4,257	1,897,526	△152	1,897,374
セグメント利益 又は損失(△)	△21,206	39,908	22,086	29,696	1,469	71,954	△106,439	△34,484

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△106,439千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「企業再生再編事業」は量的な重要性が乏しいため、「その他の事業」に含めて記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の取得)

当社は、平成25年10月4日開催の取締役会決議による株式会社陽光都市開発との資本業務提携に基づき、同社が第三者割当により発行した第1回新株予約権4個（以下「本新株予約権」という。）につき平成25年12月25日に同社から行使指定を受け、平成26年1月8日付で本新株予約権の全部を行使いたしました。その結果、株式会社陽光都市開発の株式を35,000千円取得いたしました。なお、損益に与える影響はありません。

(重要な子会社の解散)

当社は、平成26年1月22日開催の取締役会において当社の連結子会社であるグローバル芸術家有限責任事業組合の解散を決議いたしました。

(1) 解散の理由

当該子会社を設立後、当該子会社が投資を行い保有してまいりました全ての絵画作品について、平成26年1月に売却が完了したため、解散することといたしました。

(2) 当該子会社の名称、事業内容、持分比率等

子会社の名称 グローバル芸術家有限責任事業組合
 事業内容 美術品の売買及び貸与、または付帯する一切の業務
 持分比率 99%

(3) 解散及び清算時期

解散日 平成26年1月31日
 清算終了日 平成26年4月下旬（予定）

(4) 子会社等の状況、負債総額（平成26年1月31日現在）

純資産額 53,285千円
 負債総額 ー千円

(5) 当該解散及び清算による会社の損失見込み額

当該解散に伴う業績に与える影響は軽微であります。

(6) 当該解散及び清算が営業活動等へ及ぼす重要な影響

当該解散に伴う営業活動等に与える影響はありません。

(重要な事業の譲渡)

当社は、平成26年1月22日開催の取締役会において、Webマーケティング事業の中古車情報検索・車買取一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」をインターネット・ソリューションズ株式会社に対して譲渡することを決議いたしました。

(1) 事業譲渡の理由

当社では、SEO・SEMによるWebサイトの検索順位の向上を試みましたが、売上は減少し、投資額を回収できないと判断したため事業を譲渡することにいたしました。

(2) 譲渡する相手会社の名称

インターネット・ソリューションズ株式会社

(3) 譲渡する事業の内容、規模

中古車情報検索・車買取一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」

(4) 譲渡する資産・負債の額（平成26年1月31日現在）

固定資産 6,307千円

(5) 譲渡の時期

平成26年1月31日

(6) 譲渡価額

2,285千円